

# 今日も「丁あがり」

第55話

A-1グランプリから10年！

農業史に残る名作を!! の巻



高垣達郎（たかがき・たつろう）  
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に「ロボストス」を創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。ロボストス代表取締役社長。

皆さん、こんにちは！ 朝うまく靴を履けず足をくじいてしまったロボストス高垣でございます。

さて、皆さんは農業技術通信社が主催していた農業ビジネスプランコンテスト「A-1グランプリ」を覚えていますか？ 2011年7月1日に僕ら（株下請の底力／農機具カスタマイズ計画）がグランプリを獲得してからちょうど10年が経ちました。審査では農業者をグランプリに推す声が挙がるなかで、昆虫社長が僕らを強く推薦してくださったという



写真1：勢いだけでグランプリを受賞してしまった(有)ユニーク工業の羽廣社長と高垣。現在も仲良く、アジャスタブルスプレーヤーの部品も一部はユニーク工業さんが担当!!



写真2：サトイモ畑での使用例。畝間が広がっても曲がってもピタッと追従して、マルチを破ることもない



写真3：ピーマン畑での使用例。機体の総重量は7.2kgと軽いので、マルチの上を走らせることができる



写真4：ネギ畑での使用例。ネギの株元ギリギリまで除草剤を散布できる



写真5：トウモロコシ畑での使用例。高低差があっても問題なし！ さあ、次の圃場へ！

経緯があったようなんです。あの受賞がなければ、きっと僕は群馬に行かなかったし、ロボストスも生まれていなかったでしょう。それから5年が経って、昆虫社長から、『農業経営者』での連載を薦められ、農業界での信用につながりました。導くように機会を与えていただき、感謝しありません。ロボストスを続けていくことが何よりの恩返しと思えますが、何かもつと価値ある形でお返しできないか……なんてぼんやり考えていたら、現場は本格的な除草

シーズンに突入。3月号で紹介した「アジャスタブルスプレーヤー」がさまざまな圃場で使われ始めたので、続報をお届けしましょう♪

### 適応作物は拡大中

現在、アジャスタブルスプレーヤーは群馬のネギ畑から想像を超える広がりを見せています。北海道 岩手・茨城・埼玉・東京・岐阜・愛知で、ネギ・トウモロコシ・ナス・ゴーヤ・ピーマン・サトイモ・サツマイモ・ゴボウなどの野菜栽培に、そして畜

産現場にも納品しています。なかでも、サトイモ畑の高畝マルチの畝間に完全にフィットした時は興奮しました。土とマルチの境界にピタッと沿って走っていくんです！「歩きながら散布幅を変える」など自分こだわったポイントがハマって、農家さんから「これは最高だ！」と評価していただくと、夢か現実か——震えるほど嬉しいですね。

これから各地で使っていただいても、真価が問われるわけですが、もしも、農業界で名作と語り継がれるアイテムになったら、A-1グランプリ受賞から10年目の物語としておもしろいと思いませんか？ 昆虫社長はじめA-1関係者の皆さんへの恩返しにつながるように、ロボストスは次の10年も良い仕事を続けていきますよ!! ということで！ 今月は10丁あがり〜♪